

関係者の皆様へ

新型コロナウイルス施設内感染の収束のお知らせ

2月11日以降の特別養護老人ホーム（従来型多床室）での新型コロナウイルス施設内感染は、2月12日に短期入所利用者2名、2月13日に職員1名、2月14日に入居者3名、職員2名の陽性が確認されました。（合計：入居者・短期入所利用者30名、職員21名）

2月15日以降新たな感染はなく、南筑後保健所へも報告の上、3月3日をもって収束となりましたことをご報告いたします。

これまでの間、ご利用者、ご家族の皆様及び関係機関の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。また、感染拡大防止に向けてご指導いただきました南筑後保健所、福岡県介護保険課、大牟田市福祉課ならびに感染予防備品等のご支援を頂きました大牟田市介護サービス事業者協議会会員事業所の皆様、筑後地区老施協会会員事業所の皆様、地域関係者の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

現在もなお全国的に感染拡大の第6波の中にあり、今後は新たなウイルス株による感染再拡大も懸念されています。

当施設としましては、この度の経験を踏まえ、更に感染対策を強化し、利用者の皆様の安全な生活に向けて取り組んでまいりたいと思います。今後もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月4日

高齢者総合ケアセンターサンフレンズ

施設長 林 洋一郎